

「つなぐ」の意味分析

藤 森 秀 美

要旨

本稿は「つなぐ」の意味分析である。

本稿では、「つなぐ」を多義語¹⁾であるにとらえ、14の意味に分けて分析し、多義構造を示した。起点となる意味から、13の意味が派生しており、それを動機づけるのはメタファー、メトニミーであるという仮説を示した。

キーワード: 「つなぐ」, 「結ぶ」, 多義語, 類義語, メタファー, メトニミー

0. はじめに

本稿の目的は「つなぐ」の意味を分析し、その多義構造を明らかにすることである。

以下、本稿の構成について述べる。1節では、先行研究をとりあげ、その問題点を指摘する。2節では、意味分析をする際に援用する概念について述べる。3節では、別義を示し、例文を挙げ、多義語である「つなぐ」の意味分析を行う。4節では、別義を再掲し、別義間の関係を図によって示す。5節では類義語との比較を行う。藤森(2008)で明らかになった「結ぶ」との相違点を述べる。6節では本稿のまとめを行う。

1. 先行研究

本節では、「つなぐ」の先行研究として、辞書類と柴田武他(1987)をとりあげ、その記述内容を検討する。

『日本語基本動詞用法辞典』では、「つなぐ」の意味として次の5つが挙げられている。

①切れているひもなどをひと続きにする。②離れている動物・物などをひもなどで離れないようにする。③離れている場所をひと続きにする。④人が互いの手を握ったり、足を結んで離れないようにする。⑤電話を相手の電話に接続する。

①, ③の意味記述の「ひと続きにする」以外の部分はひと続きにされる対象の違いからの説明である。このように記述するとすれば、対象が違う場合、すべて記述しなければならない。例えばコンピューターとプリンターをつなぐ場合は、「機械をひと続きにする」という意味の記述が

必要となってしまう。

また、④の意味は「手をつなぐ」という表現を念頭に置いての記述だろうと推測される。これは、使用頻度も多いので理解できるが、「足をつなぐ」という表現については、記述する必要があるのだろうか。かなり特殊なケースなのではないだろうか。

一番問題なのは、別義としてとりあげられる基準がわかりにくいことである。また、別義間の関係も明示されていない。

柴田武他(1987)は、「ムスブ・ユワエル・ツナグ・ククルなど」の中で「つなぐ」を分析し、その意味を①細長い物でAをBに連結する、②AとBとの間を埋めるように連結するとしている。①は本論では別義9と別義11に、②は別義10にあたと考えられるが、これらは「つなぐ」の持つ多様な意味の一部にすぎない。

2. 援用する概念について

本稿では、「つなぐ」を多義語として分析するが、分析する際に、レトリックの概念であるメタファーとメトニミーを用いる。

メタファー、メトニミーについては、[笏山\(2001\)](#)の以下の定義に従う。

メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

メトニミー：二つの事物の外界における隣接性、あるいは二つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

3. 分析

本節では、「つなぐ」を14の別義に分け、考察する。まず、分析結果であるそれぞれの別義を示した上で、例文を挙げ、説明していく。

別義1：〈もともと離れている多数の同種の物体を、線状に連続させ、一体化させる〉²⁾

(1) ランプシェードは思い通りにはいかなかったけれどめげずに今度はビーズをつないでアクセサリーを作ってみました。

(<http://suisiejin.exblog.jp/>)³⁾

(2) 100年以上の歴史を持つ江ノ電は、(略)⁴⁾各都市にある路面電車よりも車両そのものは列車に近く、2両から4両つないで走っています。

(<http://www.skmt01.com/enoden/>)

「つなぐ」の意味分析

(1) は、もともとばらばらに存在していたビーズを連続させ、一体化させることにより、ネックレスなどの装身具にするということである。次の例は、個々の車両を連続させることにより、列車としてのまとまりを持たせることである。

しかし、ビーズや車両は連続し、一体化してはいるが、その結びつきはゆるやかで、比較的簡単に解除できる。

また、立体でなく、写真や絵など平面状の物を連続させる場合もある。

(3) デジカメ写真を数枚つないでパノラマにする作業が終了した。

(<http://blog.goo.ne.jp/woodychuck/e/75f99582d03f4d11c419a7a80251cf06>)

(4) パネルの設置工事。何枚ものアクリル板を貼り合わせた厚さ60センチのパネルを7枚横につないで完成させた。

(<http://sankei.jp.msn.com/photos/economy/business/100718/biz1007181801004-p2.htm>)

(1)、(2) では、連続させるものは立体、(3)、(4) では平面で、形状の違いはあるが、線状に連続している点は同様である。

別義2：〈もともと離れている多数の同種の物体を、平面状に連続させ、一体化させる〉

(5) 小さな小さな布を根気よく繋いで、大きな作品を作る、パッチワーク。

(<http://www.cr-japan.co.jp/suteki/suteki16.html>)

(6) 6センチ角の木のカードを9枚合わせてパズルを完成させます。一辺だけでなく四方に絵をつないでいくのはかなり難しいです。

(<http://k-miyake.net/newpage29.htm>)

(7) 電子国土のポスト地図を縦横につないで1つの画像にしようと模索しております。

(<http://postmap.org/story/555022>)

別義1では、線状に連続させるが、別義2では縦横つまり平面状に連続させる。別義2は別義1からメタファーによって拡張したものである。

別義3：〈グループに所属する成員間の関係を緊密にし、一体化させる〉

(8) 家族をつなぎ、柿の木と向かいあう家

(http://www.weekend-homes.com/compe/teian_t.php?plan_id=11138&bkn_id=00418)

(9) CHECK! 美ら島総体 明るい「声」でチームをつなぐ!

(<http://www.qab.co.jp/news/2010040817288.html>)

(10) レギュラーメンバーだけでなく、控えのメンバーたちの気持ちものせた襷は確実にチー

ムをつないでいる。

(<http://www.ikuyuu.com/newsletter/111/p8.html>)

(11) キミも一緒に英語で世界をつなごう！

(<http://www.eiken.or.jp/eikentimes/index.html>)

家、声、襷、英語が媒介物となって、家族、チーム、世界を構成するメンバーの関係が緊密化し、一体化している。

(8) は、複数の家族間の関係が緊密になっているのではなく、一つの家族を構成する、父、母、子などの関係が緊密になっているという意味である。チームも同様で、複数のチーム間の関係が緊密なのではなく、チームメンバー間の関係が緊密なのである。(11) は、英語を話すことによって、世界中の人の関係を密にしようということである。

緊密化がさらに進めば一体化すると考えられる。これは時間的隣接性によるメトニミーによって、別義2から派生した意味である。

別義4：〈もともと離れている多数の同種の物体を一体化させるのに用いる道具〉

次の例は、ハンバーグを作る際に、合い挽き肉を一体化させるために卵を用いるということである。

(12) 合い挽き肉を使い、卵でつなぐハンバーグは日本独自のものなのです。

(<http://www.ntv.co.jp/megaten/library/date/00/03/0305.html>)

次の例になると、「つなぎ」という名詞になっているが⁵⁾、一体化させるという意味ではなく、一体化させるために用いる道具という意味になっている。

(13) 一般的にはそば粉7~8割に「つなぎ」として小麦粉2~3割を使い、水で打ちます。他に代表的なものでは卵やヤマモなどが使われています。

(http://www.kanesamasoba.com/soba_hyakka.html)

(14) 珪藻土は単に「土」ですから単体で固まる事ができません。壁材として使用するには固める為のつなぎとして「硬化剤」を混ぜ込む必要があります。

(<http://www.keisoukun.com/more.html>)

そばを一体化させるための小麦粉、珪藻土を一体化させるための硬化剤は、それぞれ道具として用いられているのである。

小麦粉はそば粉に、硬化剤は珪藻土にまぜて用いられるので、これは、空間的隣接に基づくメトニミーであり、別義1から派生したものである。

別義5：〈もともと離れている多数の同種の抽象物を時間軸に沿って連続させ、一体化させる〉

- (15) 心洗われる曲をつないでみました。
(<http://nicosound.anyap.info/sound/sm7474220>)
- (16) 「silent shakespeare」に収録されている作品は、有名なシーンをつないで、それ以外の部分は字幕で説明するという形式を取っているものがほとんどだ。
(<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Stage/4989/silentshakespeare.html>)
- (17) デイル監督自身がグッときた場面をつないでいるから、映画が肉体をもって、人格をもって、こちらに訴えかけてくるのだと思う。
(http://www.mammo.tv/column/hiroko_tagaya/20090820.html)

連続させる対象が楽曲やシーン、場面など抽象的なものになっている。物体を線状に連続させるように、時間軸に沿って連続させるのである。これは別義1からメタファーによって派生した意味である。

別義6：〈同種の行為を時間軸に沿って連続させる〉

- (18) 岡田ジャパンは昨季から細かいパスをつないでフィニッシュに持って行くシュート練習を継続してきた。
(<http://www.sponichi.co.jp/soccer/news/2010/02/07/02.html>)
- (19) 第2回「県民みんなでつなぐ1万本シュート・プロジェクト」にて、最終的には“3007本！”までシュートをつなぐことができました。
(http://blog.livedoor.jp/shimane_bb/archives/50766937.html)
- (20) 1周ごとに襷をつないで、今回はひとり合計3周、6キロずつ走り、記録は、フルマラソンと同じ距離を3時間17分でした。
(<http://homewith.blog21.fc2.com/blog-entry-643.html>)

(18) では、サッカーの試合で行われるパスを、次の例では、バスケットボールで行われるシュートを、その次の例では、駅伝で行われる一定区間の走行という行為を連続させている。物体を連続させるように、行為を連続させているのである。行為であるので、物体のように線状に連結させることはできず、一定の時間を要する。

(20) の「襷をつなぐ」という表現であるが、この表現自体メトニミーである。駅伝の選手が担当するコースを走り終わると、次のランナーは襷を受け取って走り出す。継続しているのは、襷を受け取ったあとに生ずる走行であり、字義どおりに襷を連続させるということではない。これは時間的隣接性に基づくメトニミーである。

連続させるものは別義1の具体物から別義5では抽象物となり、別義6ではさらに行為になっ

ている。別義6はメタファーによって別義5から派生した意味である。

別義7：〈同種の行為を連続させ、途絶えさせない〉

- (21) 古代人の命をつないだ幻の塩1500年の眠りから目覚め、今、世界へ
(<http://doraku.asahi.com/earth/life/071205.html>)
- (22) 深夜の北陸路、少女の夢をつないだ9時間のドラマ。
(http://ma3104.air-nifty.com/real_slow/2010/01/9-0a48.html)
- (23) 生への望みをつないで旭川へやってくる患者たち。上山は医師のプライドをかけて手術に臨みます。
(<http://navicon.jp/title49548/>)

(21)の「命をつなぐ」という表現は「生きる」という行為を続けることであり、生命を途絶えさせないということである。また次の例の「夢をつなぐ」は夢の実現を阻止させないということである。継続させるよりもむしろ途絶えさせないことに重点がある。連続させることに焦点があるのではなく、連続した行為が途絶えることを阻止するのである。

また、「場をつなぐ」「場つなぎ」という表現がある。

- (24) 心地良いのは、その音楽。人のおしゃべりやざわめきよりも、少しだけ小さく聞こえるようセットしてあるので、会話の邪魔にならないと同時に、会話が途切れた時の程好い場つなぎにもなります。
(<http://allabout.co.jp/gourmet/eatoutwomen/closeup/CU20091119A/index6.htm>)
- (25) 私は突然現れた来訪者に戸惑いながらも、コーヒーを入れ、会話の糸口を探して、簡単な自己紹介をしたりして場をつないでいた。
(<http://www.impleo.co.jp/column/000002.html>)

(24)は、会話を続けるために音楽を用いるということである。次の例は、会話を続けるために、次の話題に移る間に自己紹介をしたというものである。どちらも会話を継続し、そこで終了しないようにする行為である。

行為を連続させることと途絶えさせないことは同時に起こりうることである。別義7は別義6からメトニミーによって派生した意味である。

別義8：〈同種の行為を連続させ途絶えさせないために用いる暫定的な代用品〉

- (26) 安いのに結構評価が高かったパウダーファンデを見てこの値段なら駄目元でつなぎで使えばいいや。と思ってドラッグストアへ行ったのですが、(略)

「つなぐ」の意味分析

(http://www.cosme.net/product/product_id/287457/reviews?ord=age&sort=desc&rec=&eft=&ag=&sk=&ht=&hv=&bc=&fw=&rd=&dk=0&sp=0&rf=0&p=7)

- (27) 付属のキーボードやマウスは、お気に入りのものが見つかるまでの「つなぎ」で使えばいいので、あまりシビアにならなくていいと思います。

(<http://www.pasonisan.com/review/ins530/index.html>)

- (28) 他のもっとステキな好きな人ができるまでの“つなぎ”とってつきあえば？ まだ若いんだし、婚約したわけでもないんでしょう？

(<http://okwave.jp/qa/q2078625.html>)

(26) は、何らかの理由でいつも使っている化粧品のファンデーションを使い続けることができない、あるいはせいで、次に使うまで、代用品を暫定的に使うということである。次の例も、キーボードやマウスのお気に入りのものがすぐに見つからない場合は、それほど気に入らないものを、暫定的に使えばいいということである。(28) は、異性と付き合う場合、好きな人として付き合うべきではないと言っている若い人に対し、好きな人ができるまで、暫定的に、それほど好きではない人とも付き合ってみたらどうかという年長者のアドバイスである。

また次の例のように「つなぎ番組」という言葉がある。これは、番組が終了したあと、次の本格的な番組が開始するまでの比較的短い期間に暫定的に放送されるものである。

- (29) 『～未来灯台～進化のプリズム』は(略)NTTコミュニケーションズの一社提供番組であり、「女と愛とミステリー」開始までのつなぎ番組でもあった。

(<http://wpedia.mobile.goo.ne.jp/wiki/%90i%89%BB%82%CC%83v%83%8A%83Y%83%80/>)

また、マラソンで使われる言葉に「つなぎ走」という言葉があるが、これは本格的に走ったあとに走る走り方で、次の本格的な走行の前にする、比較的軽い走行のことである。

「つなぐ」が連続させるもの／こと同士の結びつきは比較的ゆるやかで、その解除は容易であるため、暫定的という意味が出てくると考えられる。

別義8は別義6からメトミーによって派生した意味である。

別義9：くもともと離れている同種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる)

- (30) 2台のPCをつないで、ファイルを簡単に転送できるようにしたいのですが

(http://windowsxp_dell.pasokoma.jp/9_260374.html)

「つなぎ」という作業着がある。これは上半身部分と、下半身部分を縫い合わせることにより一枚の衣服になり、作業するのにふさわしい機能を備えた衣類である。

(30) では、PCとPCを一体化させ、その間でファイルを転送できる機能を備えた機器として、「つなぎ」では、上着とズボンという衣類を縫い合わせ、作業着として機能しうるようにしたものである。

別義1では、多数の同種の物体の連続であったが、別義9では、PCとPC、上着とズボンのように2つの物体の連続になっている。この関係は部分・全体関係に基づくメトニミーである。



図1 つなぎ

別義10：〈もともと離れている同種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる経路を作る〉

(31) 大衡村に残る奥州街道は、吉岡宿（現大和町吉岡）と三本木宿（現大崎市三本木）の三里二十町（約14km）をつないでいました。

(<http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/gen-setu/gen-setu2008/ousyuukaidou.pdf>)

(32) 日本と韓国を海底トンネルでつなぎ、中国や東南アジアまで縦横に走る高速道路や新幹線を敷設する構想もある。

(<http://nidasoku.blog106.fc2.com/blog-entry-789.html>)

(33) 愛媛県の今治市と広島県の尾道市をつないでいるのが「しまなみ海道」です。瀬戸内に浮かぶ島々を渡りながら10本の橋でつないでいます。

(http://202.229.237.61/rb-kyushu/blog/2010/05/post_399.html)

(34) 電話をつなぐ

(31) の奥州街道は、離れている宿場町同士を一体化させ、宿場間を行き来する際用いる経路である。また、次の例の海底トンネルは、日本と韓国という海で隔てられている国家間の経路である。その次の例は、橋が経路となっている。

また、一番下の例の「電話をつなぐ」という表現であるが、これが意味するのは、電話機をごろごろと連結させるのではなく、離れたところに存在する人AとBを話ができる状態にすることである。電話機をつなぐ電話線が経路になり、AとBの会話が可能になるのである。別義10は空間的隣接関係に基づくメトニミーにより、別義9から派生した意味である。

別義11：〈もともと離れている異種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる〉

(35) テレビとパソコンを無線でつなぐことはできるのでしょうか？

(<http://oshiete1.goo.ne.jp/qa5702122.html>)

(36) カメラダイレクトに対応してればデジタルカメラを直接プリンターにつないで印刷できますので便利です。

(<http://pcinformation.info/printerscaner.html>)

テレビとパソコン、デジタルカメラとプリンターという異なる機能を持つものを一体化させ、個々の機械ではできなかった作業を行うのである。

連続させる物は別義9では同種の物体であったが、別義11では異種の物体になっている。別義11は別義9からメタファーによって派生した意味である。

別義12：〈複数の異なる行為を一体化させ、まとまったイベントとして機能させる〉

- (37) 平安末期の名将・平知盛にまつわる能、文楽、落語のハイライト部分を講談でつないでいく新しい試み「船弁慶三体」が、二十二日午後七時から東京・南青山の鏡仙会能楽研修所で開かれる。

(<http://www.tokyo-np.co.jp/article/entertainment/tradition/CK2010022002000217.html>)

別義12では、連続させるものが異なる行為になっている。別義11からメタファーによって派生した意味である。

別義13：〈異なるものを関連付ける〉

- (38) 現在の星座のもとをつくったのは、メソポタミア地方に住んでいた羊飼いたち。彼らは羊たちが眠っている夜、空を仰ぎながら星と星をつないでさまざまな絵を夜空に想像していたそうです。

(<http://www5c.biglobe.ne.jp/~paruwees/Seiza.html>)

- (39) リムサウルスは獣脚類では珍しい植物食で親指が退化傾向にあって、恐竜と鳥をつなぐ証拠のひとつになってとろいろ話題性のある恐竜ですね。

(<http://ameblo.jp/coelacanth-ribbon/entry-10293616076.html>)

(38) は、夜空に無数に存在する星の中で、きわだつ星のいくつかをまとまりとしてとらえ、物の形や動物の形にみたて、星座として認識するということである。もともとは個別に無関係に存在する星を、関係があるものとしてとらえるということである。

次の例は、恐竜と鳥は関係がないものと一般には思われているが、実は、進化の上で関係が深いものであるとしているものである。次に挙げる例も、異なるものを関連付けている例である。

- (40) 現代美術や舞台芸術・音楽などのアーティストを中心に、様々な切り口で「社会」と「アート」をつなぎます。

(<http://veryroll.com/2009/11/11/>)

- (41) 技術と経営をつないで起業しやすくする場を、日本に作る
(http://blog.goo.ne.jp/mit_sloan/e/7ae164347681ec37465eadc072a35346)
- (42) いずれは会社組織にして発行の粋を広げ、外国人と京都をうまくつないでいきたい」と夢を膨らませる。
(<http://www.kyoto-np.co.jp/info/keizaitokusyuu/mylife/081221.html>)
- (43) 仕事とアソビをつなぐケータイ。
(<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wp/default.mspx>)

もともと関連付けられていない、社会とアート、技術と経営、外国人と京都、仕事とアソビを関連付けている。一体化する前には何らかの関連が見出されるものである。別義13は、別義11から時間的隣接関係によるメトニミーによって派生した意味である。

別義14：〈複数の異なる物体を一体化させ、動きを制限する〉

- (44) アメリカでもたとえばボストンのような古い町の古い地域には、馬をつなぐための鉄製の支柱がいまだに残されていますね。
(<http://magoemon.exblog.jp/12708593/>)
- (45) 犬の放し飼いは県の条例で禁止されています。必ず、つなぐか、しっかりした囲いの中で飼うようにしてください。又、道路に面した場所につないでいると前を通った人が驚いてけがをしたり、犬に危害が及んだりする場合がありますので、つなぐ場所にも注意してください。
(<http://www.tagatown.jp/content/view/75/7/>)
- (46) 10頭以上になってくると、建物の通路をはさんで両側に牛をつないでおく、繋ぎ式の牛舎が多くなるよ。
(<http://zookan.lin.gr.jp/kototen/kids/nikugyuu/house.html>)
- (47) 船を棧橋につなぐ。

(44)では、動かない物(支柱)と動く物(馬)を連結している。連結することにより、動く物(馬)は動きが制限される。船と棧橋も同様の関係である。連結される対象は、固定をしておかないと動いたりどこかへ行ってしまったりする物である。そのため固定させることにより、動きを止めるのである。

もともと離れていた物を一体化させると別々に存在していた場合よりは動きにくくなる。一体化させると動きが制限されるので、これは別義11から時間的隣接関係によるメトニミーによって派生した意味である。

4. 「つなぐ」の多義構造

本稿で明らかになった別義とその例文を以下に再掲し、図によって多義構造を示す。

4.1 「つなぐ」の別義

別義1：〈もともと離れている多数の同種の物体を、線状に連続させ、一体化させる〉

(1)' (略) ビーズをつないでアクセサリーを作ってみました⁶⁾。

別義2：〈もともと離れている多数の同種の物体を、平面状に連続させ、一体化させる〉

(5)' 小さな小さな布を根気よく繋いで、大きな作品を作る、パッチワーク。

別義3：〈グループに所属する成員間の関係を緊密にし、一体化させる〉

(10)' (略) 櫻は確実にチームをつないでいる。

別義4：〈もともと離れている多数の同種の物体を一体化させるのに用いる道具〉

(13)' 一般的にはそば粉7～8割に「つなぎ」として小麦粉2～3割を使い (略)

別義5：〈もともと離れている多数の同種の抽象物を時間軸に沿って連続させ、一体化させる〉

(16)' 有名なシーンをつないで (略)

別義6：〈同種の行為を時間軸に沿って連続させる〉

(18)' (略) 細かいパスをつないでフィニッシュに持って行くシュート練習 (略)

別義7：〈同種の行為を連続させ、途絶えさせない〉

(21)' 古代人の命をつないだ幻の塩 (略)

別義8：〈同種の行為を連続させ途絶えさせないために用いる暫定的な代用品〉

(27)' お気に入りのものが見つかるまでの「つなぎ」で (略)

別義9：〈もともと離れている同種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる〉

(30)' 2台のPCをつないで (略)

別義10：〈もともと離れている同種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる経路を作る〉

(31)' (略) 奥州街道は、吉岡宿 (現大和町吉岡) と三本木宿 (現大崎市三本木) の三里二十町 (約14km) をつないでいました。

別義11：〈もともと離れている異種の物体同士を一体化させ、まとまった個体として機能させる〉

(35)' テレビとパソコンを無線でつなぐ (略)

別義12：〈複数の異なる行為を一体化させ、まとまったイベントとして機能させる〉

(37)' 平安末期の名将・平知盛にまつわる能、文楽、落語のハイライト部分を講談でつないでいく (略)

別義13：〈異なるものを関連付ける〉

(38)' (略) 星と星をつないでさまざまな絵を夜空に想像していたそうです。

別義14：〈複数の異なる物体を一体化させ、動きを制限する〉

(44)' 馬をつなぐための鉄製の支柱 (略)

4.2 「つなぐ」の多義構造図

「つなぐ」の多義構造の図を以下に示す。

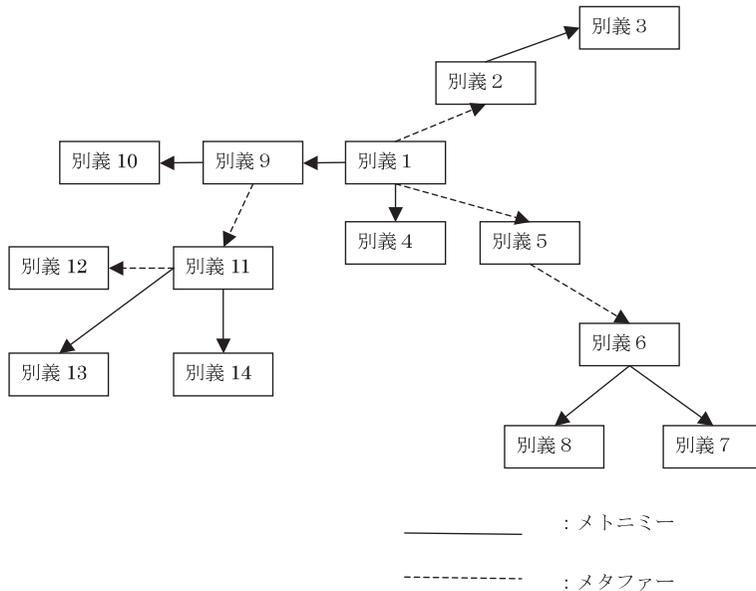


図2

5. 類義語「結ぶ」との相違

「つなぐ」と「結ぶ」は置き換えが可能な例があり、類義語と言える。しかし、置き換え不可能な例もある。ここでは、相違点を述べる。

相違点を述べる前に藤森（2008）により明らかになった「結ぶ」の別義を確認し、その多義構造を図3に示す。

5.1 「結ぶ」の意味

別義1：〈2本のひものそれぞれの片方の端と端の間の距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくする〉

(48) ひもとひもを結んで長くする⁷⁾。

別義2：〈ひもを用い、2つの物体間に存在する距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくする〉

(49) 栈橋の杭と船をロープで結ぶ。

別義3：〈ひもを用い、物体間に存在する距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくし、内容物の動きを止める〉

(50) 古新聞をビニールひもで結ぶ。

別義4：〈ひもを用い、結び目を作ることで、離れなくし、容器に入った内容物の流出をくいとめる〉

(51) 麻袋に豆を入れて、ひもで結ぶ。

別義5：〈ひもで結び目を作る〉

(52) 貝の口⁸⁾を結ぶ。

別義6：〈塊状の物を作る〉

(53) 庵を結ぶ。

なお、別義1, 2, 3, 4からは〈結び目を作ることで離れなくする〉, 別義5, 6からは、〈構造物を作る〉という共通の意味成分が抽出可能である。

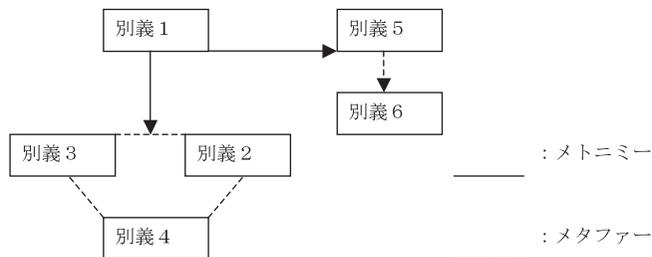


図3 「結ぶ」の多義構造

5.2 「つなぐ」と「結ぶ」の相違点

5.2.1 構造物の有無

「つなぐ」と「結ぶ」で大きく違うのは、連結する際に「つなぐ」は構造物を作らないが、「結ぶ」は作る点である。また「結ぶ」は構造物自体を装飾的に作る場合にも用いるが、「つなぐ」は用いられず、装飾とは無縁である。

5.2.2 解除の容易さ

解除の容易さという観点から見ると、「つなぐ」は比較的簡単に解除できるのに対し、「結ぶ」は解除がやや困難である。

5.2.3 連続のしかた

連続のしかたにも違いがある。「結ぶ」は線状に連続する場合のみであるが、「つなぐ」はそれだけでなく、平面状、つまり四方八方に連続する場合もある。

6. おわりに

本稿では「つなぐ」の意味分析を試みた。分析結果に基づき、基点から13の意味が派生していることが明らかになった。意味の派生を動機づけているのは、メタファーとメトニミーという比喩である。

また、「つなぐ」の類義語である「結ぶ」との比較を行い、相違点を明らかにした。

注

- 1) 多義語について国広(1982)は次のように定義しており、本稿でもこれに従う。
「多義語」(polysemic word)とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結びついている語を言う。(P.97)
- 2) 本稿では、意味をくゝで括って示す。
- 3) 実例については出版物及びweb上に公開されている諸文書(検索エンジンgoogle(<http://www.google.com/intl/ja/>)にて検索)を参照した。分析対象語には下線を引いた。
なお、文脈を要しない慣用的な表現については出典は明示していない。
- 4) 例文が長い場合、例文の理解を妨げない範囲で省略する。その際、文章中のどこが省略されても(略)を用いる。
- 5) 「つなぎ」は既に名詞化しており、動詞である「つなぐ」とは品詞が異なる。しかし、動詞の連用形から作られた名詞であり、動詞「つなぐ」の性質を色濃く残していると考えられるので、ここでは、分析対象とした。
- 6) 再掲の例文は意味の理解に支障が出ない程度に省略した。
- 7) 本稿では「ひも」を、ある程度の弾力を持ち、一定の長さを持つ物とする。
- 8) 半幅帯で結ぶ帯結びの1種である。

「つなぐ」の意味分析

引用文献

国広哲弥（1982）『意味論の方法』大修館書店

柴田武・国広哲弥・長嶋義郎・山田進（1987）「ムスブ・ユワエル・ツナグ・ククルなど」『ことばの意味1』平凡社

藤森秀美（2008）「「結ぶ」の意味分析」『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』vol. 20 No1 63-73, 名古屋学院大学総合研究所

羽山洋介（2001）「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喻」山梨・辻・西村・坪井編『認知言語学論考』No. 1. 29-58 ひつじ書房

辞書類

小泉保・船城道雄・本田崑治・仁田義雄・塚本秀樹編（1978）『日本語基本動詞用法辞典』初版

用例出典

（ ）内に URL を示したもの：(google (<http://www.google.com/intl/ja/>)) にて検索